



平成 22 年 2 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社サガミチェーン
 (コード番号 9900)
 代表者氏名 代表取締役社長 小塚 照男
 連 絡 者 取締役
 管理本部担当 伊藤 修二
 電 話 番 号 (052) 771-2126

投資有価証券評価損及びその他特別損失の発生 ならびに業績予想の修正に関するお知らせ

平成22年1月期決算（平成21年1月21日～平成22年1月20日）におきまして、下記のとおり投資有価証券評価損及び特別損失を計上する見込みであります。また、最近の業績動向等を踏まえ平成21年8月24日公表の平成22年1月期（平成21年1月21日～平成22年1月20日）業績予想を修正いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 平成22年1月期決算における投資有価証券評価損

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落したものについて、平成22年1月期決算にて投資有価証券評価損を計上する見込みであります。

対象となる投資有価証券評価損

	連結	個別
(A) 平成22年1月期末の投資有価証券評価損の総額	117百万円	117百万円
(B) 平成21年1月期末の純資産額 (A/B×100)	14,274百万円 (0.8%)	14,010百万円 (0.8%)
(C) 直前事業年度の売上高の2%の額の30%※1 (A/C×100)	153百万円 (76.9%)	136百万円 (86.2%)
(D) 直前事業年度の売上高の1%の額の30%※2 (A/D×100)	76百万円 (153.7%)	68百万円 (172.3%)

※1：直前期の経常利益につきましては売上高の2%未満であるため、「直前事業年度の売上高の2%の額の30%」となっております。

※2：直前期の当期純利益につきましては売上高の1%未満であるため、「直前事業年度の売上高の1%の額の30%」となっております。

2. 平成22年1月期決算における特別損失の計上見込み

(1) 特別損失の計上見込みの内容

① 減損損失

平成22年1月期決算におきまして、固定資産の減損に係る会計基準に基づき、当社グループの資産（建物及び構築物、機械装置及び運搬具、器具及び備品、土地及びその他）につき減損損失を計上見込みであります。

② 店舗閉鎖損失

平成22年1月12日公表の「組織変更ならびに店舗の閉鎖に関するお知らせ」に基づき、店舗閉鎖に伴う損失を計上見込みであります。

③ 投資有価証券評価損

上記「1. 平成22年1月期決算における投資有価証券評価損」に記載の通り、損失を計上見込みであります。

④ その他

既存店の改装等に伴う固定資産除却損等の損失を計上見込みであります。

(2) 特別損失計上見込み

平成22年1月期の連結財務諸表におきまして2,166百万円、個別財務諸表におきまして2,137百万円の特別損失を計上見込みであります。

	連結	個別
減損損失の計上額	1,411百万円	1,397百万円
店舗閉鎖損失の計上額	593百万円	586百万円
投資有価証券評価損の計上額	117百万円	117百万円
固定資産除却損等の計上額	43百万円	35百万円
平成22年1月期特別損失計上額	2,166百万円	2,137百万円

3. 平成22年1月期の業績予想の修正

(平成21年1月21日～平成22年1月20日)

(1) 連結業績予想数値の修正

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	22,950	△350	△320	△1,870	△76.6
今回修正予想 (B)	22,230	△450	△420	△2,900	△118.8
増減額 (B - A)	△720	△100	△100	△1,030	△42.2
増減率 (%)	△3.1	—	—	—	—
前期実績 (平成21年1月期)	25,582	267	227	△549	△22.5

(2) 個別業績予想数値の修正

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	19,870	△300	△290	△1,800	△73.8
今回修正予想 (B)	19,570	△400	△390	△2,780	△113.9
増減額 (B - A)	△300	△100	△100	△980	△40.1
増減率 (%)	△1.5	-	-	-	-
前期実績 (平成21年1月期)	22,821	164	210	△501	△20.5

(3) 修正の理由

- ① 平成21年8月24日公表の業績予想(以下 修正予想)における主力業態「サガミ」の既存店売上高は、前年同期比7.2%減を想定しておりました。これに対し、実績は9.1%減となり、修正予想の前提条件を1.9%ポイント下回ることとなりました。また、セルフサービス麺類店の「どんどん庵」におきましても、既存店が低調に推移いたしました。これにより、売上高は修正予想に対し720百万円の減収となる見通しです。
- ② 販管費につきましては修正予想16,110百万円に対し、実績は395百万円減額の15,715百万円の見通しです。経費削減は計画を上回る進捗状況であるものの、既存店売上高が前提条件を下回ることから、修正予想に対し営業利益、経常利益共に100百万円の減益となる見通しです。
- ③ 修正予想における特別損失は1,292百万円の計上を見込んでおりました。これに対し実績は、上記「2. 平成22年1月期決算における特別損失の計上見込み」に記載のとおり、2,166百万円計上の見込みです。これにより、当期純損失は修正予想に対し1,030百万円の減益となる見通しです。
- ④ 個別業績予想につきましても、同理由により修正いたしました。

4. 追補

- ① 平成22年1月期決算におきましては、営業損失・経常損失を計上見込みであり、当期純損失につきましても過去に例を見ない計上額となる見通しであります。これを受け当社といたしましては、中期経営計画を策定したうえで、平成22年1月期末に19店閉鎖する等の対策を講じております。なお、中期経営計画につきましては、3月4日公表予定であります。
- ② 株主優待制度(1,000株以上保有の株主様を対象に半期15,000円相当の株主優待食事券進呈)につきましては引き続き実施してまいります。

以上